

照沼小学校区 村政懇談会

日 時：平成21年6月24日(水) 午後7時～9時

場 所：村松コミュニティセンター 会議室

参加者：村執行部（村長，副村長，教育長，総務部長，企画政策部長，福祉部長，
経済環境部長，建設水道部長，消防長，教育次長，議会事務局長）

事務局（自治推進課長，課長補佐，自治推進課職員3名） 計16名

自治会長（宿区，照沼区，川根区，原子力機構太田区，原子力機構箕輪区）

参加者：宿区…31名，照沼区…22名，川根区…10名，

原子力機構太田区…9名，原子力機構箕輪区…9名，

その他…34名

計115名

司会進行：原子力機構太田区自治会長

1. 開会（照沼区自治会長）
2. 学区内自治会長代表あいさつ（川根区自治会長）
3. 出席者紹介（自治会長及び村執行部）
4. 村長あいさつ及び「平成21年度村政に関する説明」
5. 「東海村が目指す学区自治会の方向性」について（宿区自治会長）
6. 事前質問に対する回答
7. 懇談

○照沼区住民

常陸那珂港山方線が照沼区の方で工事を行っておりますが、その全体計画、いわゆる、いつごろ開通するのかお答えください。聞くところによりますと、暫定片側一車線で開通するという意見を耳にしておりますが、用地を提供した地権者会議の中では、大宮土木事務所と東海村の担当の方が当時おいでいただきまして、完成図面いわゆる片側二車線の四車線で開通をしますという説明を受けております。村でもその記録はあると思いますが、そのあたりのご返事をお聞かせ願いたい。関連で常陸那珂港山方線沿線を含めた常陸那珂港の後背地の土地利用に関しまして、村として将来のまちづくりの構想があるとすれば今の段階でのご説明をいただければと思います。

○建設水道部長

ただいま二点のご質問をいただきました。一点目の常陸那珂港山方線，通称北線といわれているものですが，この道路の開通時期あるいは開通する形態についてお話をさせていただきます。今のご質問の中にもありましたが，暫定二車線という話は昨年度まで大宮土木から聞いておりました。しかし，平成21年度の予算取りでほぼ四車線全線開通できるという予算が取れたということで，平成21年度から工事に着手し，事業量が大きいものですから，場合によっては平成22年度に繰り越すことも想定できますが，平成21年度の予算で四車線開通の方向で進んでおります。

照沼小学校区 村政懇談会

○企画政策部長

常陸那珂港の後背地の利用計画についてお答えさせていただきます。後背地の利用計画につきましては、現在のところ村として具体的な利用計画は持っておりません。具体的な利用計画は、ひたちなか地区の開発をひたちなか市と議論しておりますので、この中で考えていくということになると思います。また、まちづくりの総合計画も策定作業に入っておりますので、それらの中でまた必要に応じて議論が行われることになると思います。

○照沼区住民

今の土地の利用計画について、ひたちなか市と共にということも大事だと思いますが、やっぱり村独自の村としての利用計画を定めて、ひたちなか市とやるべきと思います。村としての計画を事前に住民に提示をしていただければと思っております。これは、要望にしておきます。

○宿区住民

要望事項がひとつありますので、お話したいと思います。村松宿は、毎年6月の第二日曜日を区民全体で清掃活動を何十年と継続しております。昔は道普請という言葉を使っていたと思います。道普請というのは、材料は村からもらって、作業は住民がやってきたわけでありましたが、今そういう言葉を使うところは少なくなってきたと思っております。実は、道路は大分整備されてきましたけれども、今年度は6月14日に作業したわけでありまして、村松虚空蔵尊からサイクル機構に行く間に橋が二つございます。村松虚空蔵尊からサイクル機構に向かい最初の橋を、私たちは宮前橋と言っております。そこを流れているのが村松川で、その村松川から245号線の間にもまたひとつ橋があります。そこである班（常会）が川の土手の草刈を毎年実施しておりますけれども、かなり川底が下になっておりますので、構造上両側に道路がありまして、掘割になっていったん出ています。この段差の土砂に雑草が伸び、先ほどの質問の中にありましたとおり、村松虚空蔵尊周辺の観光のことがうたわれておりましたけれども、すぐ虚空蔵尊の目の前ですので、それを考えますと、区で要望をしなくても村の管理だと思いますので、定期的に土砂と雑草を取り除いていただきたいというお願いです。

○建設水道部長

今のご意見を聞いて、そのようなことがあれば、こういう機会もそうですけれども、その都度お知らせしていただければ、現場の確認をしまして対応できることはやっていきたいと思っておりますので、観光部署の方とも協議して現場確認させていただいた上で、対応していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○原子力機構太田区住民

定額給付金の件でお聞きしたいと思っております。3月末に国のほうで定額給付金が出たと思うんですけれども、実際に東海村では、4月下旬に、最初に配られたと思っております。

照沼小学校区 村政懇談会

しかし、それは数百世帯しかなかったということで、私も家に届いた書類をすぐに提出しましたが、6月2日に定額給付金が振込となりました。役場の方には、どうしてそんなに遅くなったのかと問い合わせたところ、銀行等とのやり取りが遅くなり、6月2日になってしまったということでした。また、市町村によってはプレミアム商品券の発行がありましたが、東海村ではそういうものの発行は今のところありませんが、プレミアム商品券等の検討があったのか。話合いが行われたが発行されなかったのか。それと、東海村は商業関係がはっきり言って、(日本経済が厳しいからかもしれませんが、)落ち込んでいると感じます。シャッターが閉まっている店も何軒もありまして、村としては商業に関する活性化に関してはどのように考えているのか質問させていただきました。

○村長

質問が三問あったと思います。第一問は定額給付金の支給が遅かったのではないかという質問ですが、全くそのとおりで、こちらで言い訳したとおりの事情がありました。詳しいところは担当の部長に回答していただければわかると思いますが、基本的には定額給付金は間違えないようにという指示を出しました。また、そういうなかで、銀行や計算センターとのやり取りなどがありました。次に、プレミアム商品券がないということですが、議会筋からもそのような要望がございました。そして、経済課にその点は指示しました。プレミアム商品券をやっている市町村は、どこも商工会や商工会議所が共同で行っているもので、商工会等でやるということが決まらなければ、その話がまとまらなかったということです。意思決定されなかったということで我々としてはできませんでした。しかし、商工会の方で定額給付金ばかりではなく、今後そういう取組みをしていきたいという話が進んでおりまして、その分につきましては村としても、支援をしていきたいと思いますという話で進んでおります。それから、商業が元気ないということですが、地方が衰退していく大きな原因の中には、私は農業の衰退と地元の中小企業の衰退が二大原因だと思っています。基本的には大きな商店が地方にどんどん出てきて、それを吸い上げています。これまで役所としての政策の中に、農業とって参りました。これは、文化の面でも自然環境保護の面でも大事です。食料の自給の面でもそうありますが、健康の面でも農業は人間が生存する基本的なものです。中小企業とのウェイトの差ですが、地方の元気といいますと、中小企業が元気でなければならぬ。この点についての村としての中小企業政策ですが、やはり弱かったということを感じ、今反省しております。その点については、経済課の方で今後重点的に取組んでいきたいということですが、役場の職員が商業や工業等を考えてもなかなか出てこない。人数も2~3人しか経済課内に担当がいまいませんから、商売人でもありませんし、商売をやっている方自らが商工会という組織もありますので、その組織を強化して、どんどん村にも要求し、話合いの中で決めていくということが大事だと思いますので、商工会との話合いや連絡、調整等を強化して進めて

照沼小学校区 村政懇談会

いこうと考えております。

○福祉部長

福祉部の方から定額給付金について説明させていただきます。遅れたことは事実でありまして、大変申し訳なく思っております。ただ、村長からも先ほどお話がありましたとおり、慎重に確実に処理していくということも大事でありますし、処理に手間がかかるということもございました。実は、いつの時点で一度締めるかということが非常に問題でございまして、申請期間が4月1日から10月1日の間の6ヶ月間あります。そうしますと、集中する時期もありますし、結果論になりますけれども、一回目の振込が600件程度でした。第二回目が6月2日になったのですが、8,500～8,600件を処理することになりました。量が増えて銀行等の処理に時間がかかり遅れてしまったことを大変申し訳なく思っております。現在の進行状況ですが、申請は約90%、支給は約85%完了しております。もうひとつ、福祉部では子育て特別応援手当というものを扱っております、その処理も併せて行ったため、そういう事情があり遅れてしまいました。説明になったか分かりませんが、遅れたことは事実で申し訳なく思っております。

○宿区住民

商業が非常に衰退して、シャッターのお店もあるとか、私らもまもなくシャッターになりそうでありますので、助けていただくためにも発言します。敬老会の引出物をいろいろ頂いていておりましたが、ここ2年くらい毎年ふりかけが届きます。「こういうときこそ金券でも配っていただいて、70歳以上の方に東海村の商工会なり全ての店で使える金券を発行してはどうですか?」と4,5年前に言ったところ、当時の部長さんは「検討します」と回答していましたが、いつまで検討されるのでしょうか。そして、引継ぎは行われているのでしょうか。明確な検討結果をご回答お願いします。

○福祉部長

引継ぎは受けてはいないのですが、来週の月曜日に敬老会の打合せ会を予定しておりますので、ご意見を伝えさせていただきます。ただ、私の一存では決定できませんので、ご理解いただきたい。確実にご意見をお伝えします。

○村長

いい提案だと思います。ただし、社会福祉協議会で決めますので、強制はできない部分があります。この件を協議の場でお話しすることはお約束します。

○照沼区住民

防災行政無線の放送のあり方についてお伺いいたします。過日放送された緊急放送が屋外放送のみだった理由は何ですか。それと、ハイキングの案内や臨時職員募集の案内等を行政無線で放送すべきなのかどうか。万一原子力災害が起きたときに、またいつもの放送かということで住民の緊張感がなくなってしまう、避難が遅れることになりかねないと危惧しております。声音権の問題も考えます。ひたちなか市など

照沼小学校区 村政懇談会

を参考にしてはと思います。また、ある程度吟味して放送を流してはと思います。

○総務部長

通常であれば屋内，屋外の順で流すようにしています。今回の件は確認してみないと分かりませんが，今後も屋内，屋外の順で流していきたいと考えております。それと，放送がたくさん入って非常にわずらわしいという件ですが，総務課でも流すものは吟味していますが，やっぱり多いという話があります。その辺は今後の検討課題とさせていただきます。

○照沼区住民

自治会制度についてご質問させていただきます。学区自治会と単位自治会は並列しているのですか。

○宿区自治会長

学区自治会制度がスタートしても単位自治会は存続するのかというご質問でよろしいでしょうか。

○照沼区住民

はい。

○宿区自治会長

学区自治会ができて単位自治会は今後も継続します。

○照沼区住民

自治会が同じ地域に二つできるということですね。妥協の産物としてできたと思うのですが，問題があると思います。学区自治会が目指す，効率的ではないと思います。二つの自治会に属することになると思うので，やることが重複してしまうのではないかと。同じところに組織が二つあるのはおかしいのではないかと。複雑化してしまうのではないかと考えます。

○川根区自治会長

地区委員会が各地域で力をあげています。お話があったとおり，今後そのような課題が出てくるとは思います。検討・修正しながら，地域の特色にあったような組織化を進めていきたいとします。

○自治推進課長

単位自治会と学区自治会が並列でできるのかという質問ですが，先ほど宿区自治会長の説明の中であったとおり，班（常会）がたくさん集まって単位自治会が形成され，宿区や川根区等の単位自治会になり，小学校区内の単位自治会が集まった組織が学区自治会となります。並列というわけではありません。補完性の原則について先ほど説明させていただきましたが，班（常会）でできないことは単位自治会で，単位自治会でできないことはより大きな組織の学区自治会で行うという考え方で進めていくという考え方があります。

照沼小学校区 村政懇談会

○照沼区住民

納得はできないですが、そういう考えであればかまいません。問題点は残ると思いますので、良い方向に進めるように努力してください。

○照沼区住民

住居表示と小学校名が合っていないので小学校名を変更してはと思います。大字村松が広すぎるので真崎、押延を大字にした方が良いと思います。それと、回答書の東海村虚空蔵尊と言う名称はないので、正式な名称で標記していただきたいと思います。小学校の名称を変えることは大変だと思いますが、要望としてあげさせていただきます。

○村長

小学校名や大字についての感覚は私も全く同じですが、どういう風に整備していくかは大きな課題だと思います。地域の人達の気持ちもあると思いますので、すぐに回答は出せませんが考えてみたいと思います。また、東海村虚空蔵尊という呼称の件は大変失礼いたしました。

○宿区住民

国道245号線についてお尋ねいたします。昨年4月以降説明がなく不安に思っております。大宮土木事務所の今後のスケジュールについて教えていただきたいと思っております。

○建設水道部長

国道245号線の拡幅の件ですが、平成19年8月に第1回目の地区の説明会を開催しました。現在、現地測量、地形測量、詳細設計等が完了いたしました。今後自治会長にお話をし、近いうちに地元説明会を開催して参りたいと思っております。日程等につきましては今後自治会長と調整しご連絡させていただきます。

○照沼区住民

医療費について質問させていただきます。「子供たちが住みやすい東海村、高齢者も住みやすい東海村」をキャッチフレーズに今後まちづくりを進めていくと思っておりますができれば、後期高齢者の医療費の完全無料化についても検討していただきたいと思っております。どうしても、完全無料化が無理だということであれば、ある程度の所得制限を設けて近いうちに医療費の無料化を図っていただければありがたいと思っております。高齢者を敬っていただければと思っております。若干コメントをいただければ幸いです。

○村長

医療費の削減というものが政府の骨太の方針として始まり、その行き着いた先が後期高齢者医療保険制度だと思っております。年金だけでは医者にかかれないというお年寄りが増えることは致命傷になりますので、本来であれば政府がやるべきだと思いますが、政府でやらないなら市町村でやらなくてはならないと考えております。地方

照沼小学校区 村政懇談会

自治体の大きな課題だと思っております。無料化に拘らず補助を検討して参りたいと思います。今後の大きな検討課題にしていきたいと思います。

○照沼区住民

今や商業、工業は不景気の真只中ですが、平原工業団地の景気はどうか。行政ではどのような見方をしているのか。企業誘致を活発に行っているのか。これは、即雇用問題になりますので、企業誘致についてご回答ください。

○企画政策部長

平原工業団地の個別企業情報はもっておりませんので申し上げがねますが、極端な悪化は聞いておりません。なお、平原工業団地の中にも空いている土地がございますので、その空いている土地については、県全体として（東海村ばかりでなく）工業団地の営業をかけておりますので、その中でPRを行って、誘致していただけるようお願いをしておるところであります。あと、部原地区につきましては、協議会を作りまして、今後の検討課題とさせていただきたいと思っております。

8. 閉会（原子力機構箕輪区自治会長）